

商業「簿記」各項目の評価規準

指導項目(大項目)	小項目	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 簿記の原理	ア 簿記の概要 イ 簿記一巡の手続 ウ 会計帳簿	○簿記の目的、歴史、種類及び簿記が企業の経営活動を会計帳簿に記録し、計算・整理するものであることを身に付けている。	○簿記の原理に関する知識、技術を基盤として、取引を記録することと決算の意義について自らの考えを持っている。	○簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(2) 取引の記帳	ア 現金と預金 イ 債権・債務と有価証券 ウ 商品売買 エ 販売費と一般管理費 オ 固定資産 カ 個人企業の純資産と税	○取引の記帳について理論と実務を関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	○取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	○取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(3) 決算	ア 決算整理 イ 財務諸表作成の基礎	○決算について理論と実務を関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	○決算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	○決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(4) 本支店会計	ア 本店・支店間取引と支店間取引 イ 財務諸表の合併	○本支店会計について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	○本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的根拠に基づいて課題に対応している。	○本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(5) 記帳の効率化	ア 伝票の利用 イ 会計ソフトウェアの活用	○記帳の効率化について理論と実務を関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	○記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	○記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用と会計ソフトの効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。